



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

2005年1月1日発行 第40号 発行・横浜スペイン協会事務局

年頭のご挨拶

横浜スペイン協会
副会長 齋藤 由基彦

新年明けましておめでとうございます。

2005年の新春を迎え、皆様のご多幸を祈念申し上げます。平素皆様には当協会の事業の推進に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当協会は本年創立15周年を迎えましたが、会員皆様のご理解とご協力により発展してまいりましたことは誠にご同慶の至りでございます。このことは駐日スペイン大使をはじめ、関係諸団体の皆様の暖かいご支援の賜物でございまして、ここに改めて厚くお礼申し上げます。

本年は15周年記念行事の一環として、次の行事を予定しております。

- (1) ロンダ市への友好親善訪問を実施する（長年の懸案であった「日本さくら広場」が完成したので、ロンダ市長を表敬訪問、ベンチの贈呈式、関係市民との交流をおこなう）。
- (2) 駐日スペイン大使館の庭園に「横浜緋桜」を植樹する。
- (3) 当協会会員による「スペイン音楽の夕べ」と「私たちのスペイン展」を開催する。
- (4) 日本各地のスペイン協会との交流会を実施する。
- (5) 記念パーティーを開催する。

皆様の英知と行動力を結集し記念行事を成功させ、これを起点として当協会が更なる発展を遂げるよう念願しております。今後とも、皆様の相変わらぬご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶とします。



—— 協会創立15周年記念行事のご案内 ——

2005年は当協会が創立され、15周年の記念の年になります。この15年を振り返りながら、さらに協会の目的に適った発展の基礎を作るきっかけとなるような行事を、会員の方々からのご提案をもとに昨年来より計画を進めて参りました。齋藤副会長の年頭のご挨拶でもご紹介していますが、ここで少し詳細に記させていただきます。なお、多くの皆様方の各行事へのご参加を心よりお待ち致しております。

1. 駐日スペイン大使館へ「横浜緋桜」の植樹（2月）

昨年スペイン大使館が改装され、スペイン大使との約束で、そこに私たちからの桜の木を植樹する準備をしてまいりました。植樹は時期を考慮する必要があるため、寒い時期に行うことで日程を大使館と調整中です。参加は会員のみとなります。

2. ロンダ市への親善訪問（3月中旬）

ロンダ市に新たに「日本さくら広場」が新設されました。会員の三崎輝夫さん夫妻念願のベンチも長い交渉の末に設置され、ロンダ市民には憩いの場所の一つになりました。これを機にロンダ市の市長や、この件でお世話になった方々へのお礼、市民との交流を促進する目的で、ロンダへの親善訪問団が3月中旬に出発する予定です。会員以外の方も参加できます。

3. 「私たちのスペイン展」（6月20日～26日）

皆様が日頃思いをはせているスペインをテーマにした作品を披露しあう展覧会です。街角で撮った何気ないスナップ写真や、スケッチ、或いは折り紙や人形、手工芸品など、自慢のものを出品してください。会期は6月20日（月）～26日（日）、会場は「みなとみらいギャラリーB」です。出展者は原則として会員および文化講座参加者のみなさんです。

4. 会員による「スペイン音楽の夕べ」（6月24日）

会員の中には色々のジャンルのスペイン音楽の専門の方々がいます。その方々のご協力で6月24日（金）、みなとみらい小ホールで音楽会を開催します。他の音楽会とは一味違うものになりそうです。ご期待ください。入場料 会員 1,000円 一般 2,000円（チケットは「チケットぴあ」または「みなとみらいホールチケットセンター」でお求め下さい。）

5. 全国各地の「スペイン協会」との交流会（6月24日）

国内各地に私たちと同じような思いをもって活動をされている団体があります。その方たちとの意見交換や活動報告などを通し、交流を深めるために交流会を開催します。より良い活動のエネルギーの源になることと思います。6月24日（金）の午後2時からみなとみらいのヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテルの予定です。参加対象は会員のみとなります。

6. 記念パーティーの開催（6月24日）

6月24日（金）午後7時から、ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテルで「15周年記念親睦パーティー」を開催します。「スペイン音楽の夕べ」の直ぐ後ですので、音楽会と併せてのご参加お待ちしております。会員以外の方もお待ちしております。

今年は以上のような行事やお知らせが逐次出てきますが、次の会報発行まで間に合わない分は、必要に応じてニュース・レターを発行して、会員の皆様にはお知らせいたします。

❀❀ ロンダに“日本さくら広場”誕生 ❀❀

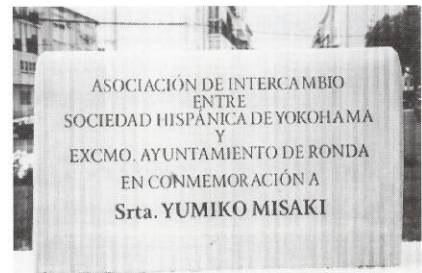


▲「日本さくら広場」のベンチ

広場に設置されたベンチには、横浜スペイン協会のスペイン語名 **SOCIEDAD HISPÁNICA DE YOKOHAMA** の文字とともに、三崎輝夫夫妻の故由美子さんの銘が刻まれています。

なおこのベンチの制作に際しては、ロンダ市在住の画家・彫刻家 ホセ・カベッサ氏の全面的な協力をいただきました。この広場の造園に関わって下さった全ての方々に心よりお礼を申し上げます。そしてこの広場が、世界の人々の友好の場になることを願っています。

当協会会員の三崎輝夫さん夫妻から、桜を通じて当協会と縁のあるロンダ市へ、ご夫妻の長女でスペインをこよなく愛した今は亡き由美子さんの思い出に、桜のある公園にベンチを寄贈したいとの申し入れがあつてから8年。ホアン・ベニテス前市長のご英断により、滞っていた計画が昨秋から動き出しました。その結果ロンダ市は新しい広場を造園し、そこに当協会が1997年の植樹の時に寄贈した桜の苗木を12本移植、“日本さくら広場”（**PLAZA DEL CEREZO JAPONÉS**）と命名してくださいました。



▲ベンチの銘

***** スペイン・サロンへのお誘い *****

今年も魅力あるスペイン・サロンを定期的に開催します。お知り合いや友人をお誘い合わせの上、ご参加下さい。

●2005年1月度例会・新年会

年頭のスペイン・サロンは恒例の新年会です。今年は“狂女王フアナ”の講演でお馴染みの西川和子氏ご夫妻のフルートとギターで、スペインのクラシックの名曲を演奏していただきます。ワインと軽いお食事で午後のひとときをお楽しみ下さい。

日 時：2005年1月15日(土) 14：00～16：00

場 所：ルミネ横浜店7階「ルミネ・サロン」横浜市西区高島2-16-1（横浜駅東口隣接）

TEL 045-461-6500（マーケット・レストラン「AGIO」気付）

参加費：会員 2,000円 一般 2,500円

☞申込：1月7日(金) までに、下記のスペイン・サロン担当宛お申込み下さい。

山崎宗城（TEL&FAX 0467-44-5876） 澤田真人（TEL&FAX 045-351-1895）

千葉博子（TEL&FAX 045-844-9210） 廣瀬孝子（TEL&FAX 045-983-8327）

●2005年4月度例会

日 時：4月23日(土)

場 所：時間も含め追ってご案内いたします。

講 師：岩根圀和氏 神戸市立外国語大学大学院修士課程修了。現在、神奈川大学外国語学部教授。

著書：「賈作ドン・キホーテ」「物語 スペインの歴史」「物語 スペインの歴史 人物編」（中公新書）
その他多くの訳書を著しています。

テーマ：若き日のセルバンテスとレパント海戦、それに続くスペイン無敵艦隊の敗北の時代を話していただきます。

参加費：会員 1,000円 一般 1,200円（茶菓代を含む）

★★★★ スペインの香り スペイン・サロン ★★★★★

●10月のスペイン・サロン「バスクとバスク人」 講師：渡部哲郎氏（横浜商科大学教授）

スペインの中でも独特な言語や風習をもっている「バスク」について、そのアイデンティティにこだわる歴史的背景や、地域的特異性を活かしつつ現代社会において「ヨーロッパの再生のモデル」とまでいわれる新しさまで、講師の息もつかせぬ流暢なお話に引き込まれ、充実した2時間でした。

スペインのバスクといえば、バスク自治州3県（ギプスコア、ビスカヤ、アラバ）とナバラ州の一部の地域に当たりますが、その地方に住む人達は非常に帰属意識が強く誇り高い民族です。そしてバスク語は、バスク人がバスク人である根拠となす言語で、自らのことを「バスク語を話す人々」（エウスカルドゥナク）と呼ぶごとく、地域社会の意識統一に重要な要因になっています（このバスク語の、起源は「言語的孤島」として周辺に類をみない古い言語で、さらに非ローマ征服の地としてローマになじんでいない言語です）。

バスクの家族や村・町の強い帰属意識の基には「カセリオ」という家族制度がありますが、カセリオの取り決めでは、長子が家を継ぎ、それ以外の子供は家を出なくてはならないので、多くのバスク人が活路を求めて外の世界に出て行きました。彼等の中には16～17世紀、カステージャ王国でその能力を発揮する者も多かったです。大航海時代、遠洋漁業で培った技術を活かし、インディアス事業にも多く関わり、植民地アメリカへ入る特権を得たバスク人は、アメリカ社会の中では自分達のネットワークをつくりました。講師がわざわざ「異能集団」と名付けたバスク人たちは、その特技を駆使し世界に散らばり、遠い国にあってもその帰属意識で強固なネットワークを作り、そしてその力をまた経済的にも社会的にも活かしていったのです。

スペインで産業革命を経験したのは、バスクとカタルーニャだけでした。カタルーニャは繊維織物工業で、

資本も中規模。しかし、バスクは鉄や石炭の重工業。資本も大規模で政治とも結びつき、19世紀スペインの産業および経済をリードしました。

近年、ヨーロッパ的にも、世界的にも地域が独自性を主張し始めています。いろいろな民族や言語を一括りにして一つのnationを形成していた近代の問題点が破綻をきたしたのでしょう。そこで民族的、地域的な特異性を大事に守り、それを活かして新しさを追い、未来を切り開いていくバスク人の「民族の智慧」が新しいヨーロッパの方向性を探るヒントになっています。ヨーロッパ再生のモデルとして、「サスティナブル（持続可能な）シティ」として脚光をあびているのが、ビルバオのグッゲンハイム美術館をはじめとする新しい建物等で、ポスト工業都市再生＝鉄の町から文化都市として注目されているのです。

バスクの背景を思いながら、ぜひ一度この目でグッゲンハイム美術館を訪れて見てみたいと感じました。
(寺原瑛子)

●12月のスペイン・サロン

「スペインと二つのコメモレーション イサベル女王没500周年と、ドン・キホーテ出版400周年」

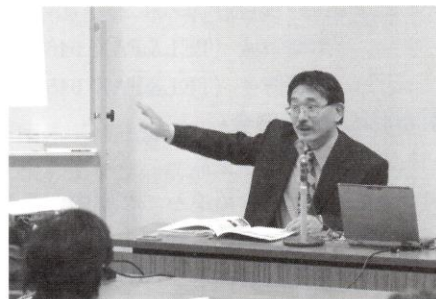
講師：立石博高氏（東京外国語大学教授）

西暦1504年11月26日にイサベル女王が亡くなり、王権は娘フィナとフェリペの手に引き継がれて、国王フェリペ一世の時代に移っていくのですが、2004年はこの歴史の節目から数えて500年目に当たります。

1492年1月2日には最終的にグラナダ王国の崩壊を達成し、イスラム教徒を駆逐して事実上のスペインの支配とカトリックの支配を達成したイサベル女王とフェリペ一世、そして今年イサベル女王没500周年に当たり、スペイン国家の対応にはなかなか複雑なものがあり、スペイン有力紙の中でもカトリック系の新聞がトレド大司教の記事を載せ、2002年に決議されたイサベル列福調査をローマ法王庁に求める運動を推進する呼びかけを再度掲載したものの、公的機関は際立った動きをしていなかったとのこと。

一方、1992年はバルセロナオリンピックと共に、コロンブスのアメリカ発見500周年、レコンキスタを取り上げ、イデオロギー的には中世における三つの宗教・文化の共存との対立概念を取り上げ、スペインは建国500周年を祝う行事を催している。

また、立石氏は、歴史上19世紀後半から20世紀の時代を、「コメモレーションと国民的記念碑建立の時代」ととらえ、ドイツ、フランス、イギリス同様スペインにおいても1835年コルテス広場のセルバンテス像、1883年イサベル女王像（自然科学博物館庭園）、1892年コロンブス記念碑、1902/1922年アルフォンソ12世記念碑、1905年「ドン・キホーテ前編」出版300周年記念・顕彰、1915年「ドン・キホーテ後編」出版300周年、1930/1957年スペイン広場のセルバンテス記念碑の建立。さらに、「言語帝国主義とセルバンテス」と題し、1920年3月6日のプリモ・デ・リベラによる政令「ドン・キホーテの一節を毎日読むこと」、1939-1975のフランコ体制時におけるポスター「スペイン、規律、セルバンテスの言葉、万歳！」を取り上げ、コメモレーションと国民的記念碑の建立に国家の意志・意図を読みとらなければならないと指摘しました。（山崎宗城）



▲国民的記念碑の意味を映像で説明する立石氏

***** 文化講座からのお知らせ *****

♪ 「スペイン音楽サロン」 へのお誘い ♪

◆第16回 2005年3月8日(火) 13:30~15:30

ラテン音楽の世界におけるタンゴ

当協会の副会長飯塚さんは、タンゴ、特にアルゼンチン・タンゴ大好き人間を自認しています。その飯塚さんが、ラテン音楽の中におけるタンゴについて語ります。ご好評頂いた前回に続いて、2回目とな

るタンゴについてのお話です。ご期待ください！

☆開催場所 県民サポートセンター／603号室

☎申込み／問合せ先：安田秀之 TEL&FAX 03-3418-0895

◆6月は当協会の15周年記念音楽会が6月24日に開催される予定ですので、お休みさせていただきます。



たのしい「絵画教室」



絵画教室は、真鶴半島の海に近い島津画伯のアトリエで、時には近くの海岸に出かけたりしながら、楽しく開催されています。

島津画伯はスペインの詩情を描く画家として、個展ではいつもスペイン大使館の後援を得ている画家です。旅先でのスケッチは、その旅を特別印象深いものにします。

心に残る旅を考えているあなた、ぜひわたしたちと一緒に島津画伯の親切な指導を受けてみませんか。絵を描くのが初めての方、すでに描かれていてさらにブラッシュアップを考えておられる方、どなたでも、多くの方の参加を受け付けています。水彩・油彩・アクリル、パステルなどご自身のやりたい手法で自由に習うことができます。

◆本年上期の開催予定日（毎月原則として第1土曜日に開催します）

●1月8日（土） ●2月5日（土） ●3月5日（土）

●4月2日（土） ●5月7日（土） ●6月4日（土）

☎問合せ先：西川貞子 TEL&FAX 045-852-3874

◆絵画教室参加費：1回（1ヶ月）会員 2,000円 一般 2,500円



▲グラナダの裏通り
島津豪亮画伯

▶▶▶ スペイン語教室だより ◀◀◀

I. 年初1月、2月のスペイン語教室はお休みです

現在使用中の県民サポートセンターの改修工事に伴い、1月、2月はミーティングルームが利用停止となりました。その間スペイン語教室は休講いたします。3月から平常通りとなります。

II. スペイン語教室一覧表

本年4月から下表の11クラスで開講いたします。興味のある方は是非一度教室をのぞいて見て下さい。

開講日	回数	時間	教室名・内容	講師
月曜日	月3回	10:30～12:00	アマポーラ（会話・初級1）	Emilio Olmos
		13:00～14:30	カメリア（会話・初級2）	Emilio Olmos
		14:45～16:15	アスセナ（会話・中級1）	Emilio Olmos
		10:30～12:00	ロメロ（作文、会話・中級）	Joan Dorado
		13:30～15:00	マルガリータ（文法・入門）	Joan Dorado
水曜日	月3回	13:30～15:00	ロサ（会話・ABC入門）	Emilio Olmos
		10:30～12:00	ヒラソル（会話・中級2）	Joan Dorado
		13:30～15:00	クラベル（会話・初級3）	Joan Dorado
		10:30～12:00	ビオレタ（文法・初級）	橘川 万里子
土曜日	月3回	10:30～12:00	セレス（文法会話・中級）	栗山 由美子
第4土曜日	月1回	10:15～11:45	新聞雑誌を読む会（上級）	栗山 由美子

☎問合せ先：スペイン語担当 牧瀬 貢 TEL&FAX 045-812-5270 E-mail: makise@beige.ocn.ne.jp

下山宏子さんのご冥福をお祈りいたします

中村 瑛子

最近の大変残念で悲しかったことは、8月に下山会長夫人、宏子さんの訃報に接したことでした。

宏子さんとはスペインという出会いがなければ一生お会いできるチャンスもなかったでしょう。縁とは不思議なもので、1990年横浜スペイン協会発足以来、4回もスペインにご一緒しました。そのうち3回はスペインへの桜の植樹事業に参加し、第1回が1993年のロンダ、第2回が1995年のセビージャとコリア・デル・リオ、第3回が1998年のロンダでした。協会で実施したスペイン桜植樹はこの3回ですが、3回とも参加したのは会長と宏子さんと私だけになってしまっていましたので、思い出を共有した宏子さんがいらっしやらなくなって寂しさもひとしおです。それゆえ宏子さんが残した強烈な印象は、今でも鮮やかによみがえります。

4回目にご一緒したのは、第3回の植樹の年の秋にロンダ政府から、ペドロ・ロメロ祭りに招待された時でした。そのお祭りは王家もご臨席されていた伝統のある闘牛祭りで、その年は、たまたまロンダのパラドールに滞在していたフアン・カルロス国王のお母様のお姿を目の当たりにしました。

1週間の祭りの幕開けにロンダ市長と並んで、背の高い着物姿の宏子さんがテーブルを切った優雅な姿はロンダっ子の目を引きました。その宏子さんがある時、滞在していたロンダのパラドールで発した言葉はあの優雅さとは対照的で、一緒にいた我々の度肝を抜きました。

夜、会長夫妻の部屋でお茶を飲んでいたら、パラドールが停電になって真っ暗になりました。一瞬どうしたのだらうと思って戸惑っていると、宏子さんが暗闇でさっと動き、ご自分の荷物を探り出し、大きな懐中電灯を取り出して部屋を照らし、ドアを開けて廊下のようなすを見ました。どれくらいの間停電だったか忘れてしまいましたが、回復してから、私がその瞬間の行動に感心したと言ったら、宏子さん曰く「私はね、あなたたちみんなが死んでも、周囲がみんな死んでも、たとえ世界中が死んでも自分ひとりには絶対生き残るつもりよ。だから旅行に行くときは非常用のもの、これこれは用意しておくの」と中身を教えてくださいました。冗談まじりかも知れなかったのですが、そのときの宏子さんの言葉の力強さは自信に満ち溢れていて我々を圧倒しました。あの時の宏子さんは絶対に1年後に病床につくことになるとは、夢にも思っていられなかったに違いありません。あの宏子さんが、あの時の仲間で真っ先に逝ってしまうなんて、何という運命の皮肉でしょうか。

今年の早春、病床のベッドからのお電話の声はとても元気でした。「ロンダは楽しかったわね。あんな楽しいことがあったから、私はこれで充分と思えるの」とおっしゃっていたのが、交わした最後の会話でした。ご冥福をこころよりお祈りいたします。

私のスペイン *スペインは多様の国です。それぞれの人の想いも多様です。あなたの想いは何ですか？

—— 会員投稿 ——

スペインの選択

—— 辻 和也 ——

今年（2004年-編集部注）3月にマドリードのアトーチャ駅構内で起きた列車爆破テロ事件は通勤客を中心に190人の死者を出す大惨事となった。

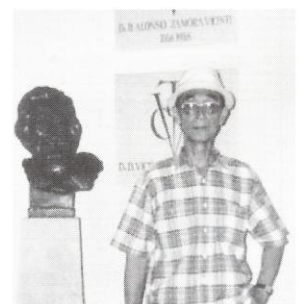
政府は「バスク過激派ETAの犯行」と発表した。現場から発見された携帯電話や、その他の証拠から、イラク派兵に反対する国際テロ組織に連なるイスラム過激派の犯行と断定された。

折しもスペインではアスナール政権と、「イラクからスペイン軍の撤退」を公約に掲げたサパテロ率いる社労党（社会労働党-編集部注）が熾烈な選挙戦を展開していた。

列車テロ事件は投票日の3日前というタイミングで起き、総選挙に対する国民の関心は、いやがうえにも高まり投票率を8.5ポイント押し上げた。

選挙結果は、直前の世論調査の、与党・国民党楽勝の予想を覆し、社労党が劇的な勝利を収めた。

組閣後、公約は直ちに実行に移され撤退作戦は一兵も損なうことなく完了した。



▲サラマンカ大学エルナン・コルテス寮にて筆者

この一連の経過について、或る新聞のコラムに、「スペインの静かな怒り」と題する記事が掲載され、その頃スペインに滞在していた作家大江健三郎氏は、スペイン全土で1,100万人が参加した列車爆破テロに抗議するデモの状況を次のように述べている。

「百万人単位のデモでも驚くほど静かだった。復讐を叫ぶのではなく悲しみに満ち、抑制された怒りの表現に心を打たれた。そして選挙結果にエスペランサを見た」

スペイン軍のイラクからの撤退は怯懦からではなく、スペインの歴史上繰り返された“戦争の惨禍”から学んだ国民による賢明な選択であったと分かり、私の胸にストンと納まった。

2005年スペイン祝祭日

2005年スペイン全国祝祭日の発表になりました。この他に自治州単位の祝日が1日、ローカルホリデー2日(計3日)が加えられます。現時点では全ての自治州の振替休日及びローカルホリデーが発表になっておりません。分かっているマドリッド・バルセローナの祝日のみ掲載いたします。スペインへのご旅行の参考にして下さい。

- 1月 1日 新年 (AÑO NUEVO)
- 1月 6日 主顕節の日 (EPIFANIA DEL SEÑOR)
- 3月24日 聖木曜日 (JUEVES SANTO)
*カタルーニャ地方等は28日月曜 (イースターマンデー) が祝日
- 3月25日 聖金曜日 (VIERNES SANTO)
- 5月 1日※ メーデー (FIESTA DEL TRABAJO)
- 8月15日 聖母被昇天祭 (ASUNCIÓN DE LA VIRGEN)
- 10月12日 イスパニアデー (FIESTA NACIONAL DE ESPAÑA)
- 11月 1日 諸聖人の日 (TODOS LOS SANTOS)
- 12月 6日 憲法の日 (DÍA DE LA CONSTITUCIÓN ESPAÑOLA)
- 12月 8日 聖母受胎告知の日 (INMACULADA CONCEPCIÓN)
- 12月25日※ クリスマス (NAVIDAD)

注意：※のついた5月1日と12月25日は日曜にあたり振替休日は各自治州単位で決められます。翌日を振替にする自治州と全く違う日を祝日にあてる自治州があります。

●マドリッド及びバルセローナの上記に加えられる祝日は下記の通りです。

マドリッド

- 5月 2日 (5月1日の振替休日) マドリッド自治州全域
- 5月 3日 (5月2日のマドリッド自治州の祝日の振替休日) マドリッド自治州全域
- 5月15日 (サン・イシドロの日) マドリッド市のみ
- 7月25日 (12月25日クリスマスの振替休日) マドリッド自治州全域
- 11月 9日 (聖母アルムデナの日) マドリッド市のみ

バルセローナ

- 5月16日 (聖霊降臨祭) カタルーニャ自治州全域
- 6月24日 (サン・フアンの日) カタルーニャ自治州全域
- 9月23日 バルセローナ市のみ
- 9月24日 (聖母メルセドの日) バルセローナ市のみ
- 12月26日 (聖エステバンの日) カタルーニャ自治州全域

資料：スペイン政府観光局提供

－賛助会員各社の会員サービス内容－

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より、表記のサービスが受けられます。

賛 助 会 員	住 所	電 話 番 号	会 員 サ ー ビ ス 内 容
レストランオリーブ	横浜市中区高島2-5-10	045-441-4996	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	カサ・デ・フジモリ関内本店前	045-651-1074	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ目黒店	J R 目黒駅 (東京) 徒歩5分	03-5420-5328	サングリア1杯無料
太陽海外航空㈱	東京都中央区京橋2-2-14 山陽アネックスビル	03-3281-2441	成田空港使用料の負担
日西商事 (うさぎのいる島)	横浜市戸塚区品濃町252-3	070-5024-8196	ワイン1杯無料

この一連の経過について、或る新聞のコラムに、「スペインの静かな怒り」と題する記事が掲載され、その頃スペインに滞在していた作家大江健三郎氏は、スペイン全土で1,100万人が参加した列車爆破デモに抗議するデモの状況を次のように述べている。

「百万人単位のデモでも驚くほど静かだった。復讐を叫ぶのではなく悲しみに満ち、抑制された怒りの表現に心を打たれた。そして選挙結果にエスペランサを見た」

スペイン軍のイラクからの撤退は怯懦からではなく、スペインの歴史上繰り返された“戦争の惨禍”から学んだ国民による賢明な選択であったと分かり、私の胸にストンと納まった。

2005年スペイン祝祭日

2005年スペイン全国の祝祭日が発表になりました。この他に自治州単位の祝日が1日、ローカルホリデー2日（計3日）が加えられます。現時点では全ての自治州の振替休日及びローカルホリデーが発表になっておりません。分かっているマドリッド・バルセローナの祝日のみ掲載いたします。スペインへのご旅行の参考にしてください。

- 1月 1日 新年 (AÑO NUEVO)
- 1月 6日 主顯節の日 (EPIFANIA DEL SEÑOR)
- 3月24日 聖木曜日 (JUEVES SANTO)
*カタルーニャ地方等は28日月曜（イースターマンデー）が祝日
- 3月25日 聖金曜日 (VIERNES SANTO)
- 5月 1日※ メーデー (FIESTA DEL TRABAJO)
- 8月15日 聖母被昇天祭 (ASUNCIÓN DE LA VIRGEN)
- 10月12日 イスパニアデー (FIESTA NACIONAL DE ESPAÑA)
- 11月 1日 諸聖人の日 (TODOS LOS SANTOS)
- 12月 6日 憲法の日 (DÍA DE LA CONSTITUCIÓN ESPAÑOLA)
- 12月 8日 聖母受胎告知の日 (INMACULADA CONCEPCIÓN)
- 12月25日※ クリスマス (NAVIDAD)

注意：※のついた5月1日と12月25日は日曜にあたり振替休日は各自治州単位で決められます。翌日を振替にする自治州と全く違う日を祝日にあてる自治州があります。

●マドリッド及びバルセローナの上記に加えられる祝日は下記の通りです。

マドリッド

- 5月 2日 (5月1日の振替休日) マドリッド自治州全域
- 5月 3日 (5月2日のマドリッド自治州の祝日の振替休日) マドリッド自治州全域
- 5月15日 (サン・イシドロの日) マドリッド市のみ
- 7月25日 (12月25日クリスマスの振替休日) マドリッド自治州全域
- 11月 9日 (聖母アルムデナの日) マドリッド市のみ

バルセローナ

- 5月16日 (聖霊降臨祭) カタルーニャ自治州全域
- 6月24日 (サン・フアンの日) カタルーニャ自治州全域
- 9月23日 バルセローナ市のみ
- 9月24日 (聖母メルセドの日) バルセローナ市のみ
- 12月26日 (聖エステバンの日) カタルーニャ自治州全域

資料：スペイン政府観光局提供

－賛助会員各社の会員サービス内容－

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より、表記のサービスが受けられます。

賛 助 会 員	住 所	電 話 番 号	会 員 サ ー ビ ス 内 容
レストランオーリーブ	横浜市中区高島2-5-10	045-441-4996	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	カサ・デ・フジモリ関内本店前	045-651-1074	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ目黒店	J R 目黒駅（東京）徒歩5分	03-5420-5328	サングリア1杯無料
太陽海外航空(株)	東京都中央区京橋2-2-14 山陽アネックスビル	03-3281-2441	成田空港使用料の負担
日西商事（うさぎのいる島）	横浜市戸塚区品濃町252-3	070-5024-8196	ワイン1杯無料

//////////////// 新入会員紹介 //////////////////

並木 陽子 (Yoko Namiki) 2004年8月20日入会

横浜市戸塚区品濃町1789-1-B512

主人の仕事の関係で、中南米に5年暮らしましたが、スペイン本国の歴史、文化に興味があります。

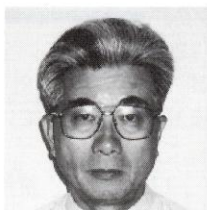
横浜スペイン協会の文化的催しものに参加して知識、見識を豊かにし、スペインと日本を行き来しながら暮らすという将来の夢が、より充実したものになるようとの思いで入会しました。



村岡 静生 (Shizuo Muraoka) 2004年10月15日入会

横浜市泉区緑園4-2-1 サンステージ6-506

塩野七生さんの『ローマ人の物語』を読んで、ラテン系の言葉のひとつをぜひ覚えたいと思いました。結局、スペイン語を定年退職後の楽しみのひとつとして選びました。それは“人生の楽しみ方”を一番良く知っているスペイン人と、その文化を通してラテン的な生き方を模索するのも面白いと思ったからです。



宮原 和彦 (Toshihiko Miyahara) 2004年11月15日入会

川崎市中原区上小田中3-29-1 707

以前スペインに住んでいたことがあり、スペイン好き人間の一人として、スペインとのかかわりを持ちたいと、考えたしだいです。



***** INFORMACIÓN *****

●上原由記音さんの『粋と情熱Gracia y Pasión～スペイン・ピアノ作品への招待』が発行

日本初のスペイン・ピアノ作品解説書(全343曲)が2004年11月中旬に発行されました。スペイン・ピアノ作品ガイドの決定版ともいえるものです。お問い合わせは(株)ショパン TEL:03-5721-5525 FAX:03-5721-6226 E-mail:shopping@chopin.co.jpまで。ホームページ<http://www.chopin.co.jp>もぜひご覧下さい。

●15周年記念「私たちのスペイン展」への出展のお願い

すでに募集要領でご案内しましたが、お早めにご応募下さい。お問合せは実行委員会幹事の、渡邊昭夫 (TEL&FAX 045-861-4858) 牧瀬貢 (TEL&FAX 045-812-5270) 寺原瑛子 (TEL&FAX 045-481-3860) へ。

●AIYES通信39号の会員投稿の「私のスペイン」に投稿者のお名前に誤りがありました。(誤) 谷本啓子→(正) 谷本敬子です。訂正するとともに謹んでお詫びいたします。

■会員訃報 ■ 伴野 芳信さん

昨年度まで理事をされ、かつて「AIYES通信」の編集委員もされていた伴野芳信さんが、病気のため、去る2004年9月7日午後7時30分逝去されました。

伴野さんは2002年8月に夫人の忠子会員を亡くされ、その後夫人の意志を継がれ、協会の活動に参加されておられました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

<編集後記> 明けましておめでとうございます。協会15周年記念の行事計画が発表になりました。

盛りだくさんの内容で今から待ち遠しくありますが、スタッフの皆さんの苦勞もまた今から偲ばれるというもの。多くの会員の協力で成功に終わらせたいものです。AIYES通信も次号は15周年記念号になります。ご期待ください。昨年は残念なことに訃報が相次ぎました。下山会長夫人、伴野さん、いずれも協会の発展に尽力をされていただけに15周年を迎えずにして逝かれたことは大変残念なことでした。ご冥福をお祈りいたします。

* 投稿寄稿宛先 〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台54-10-106
横浜スペイン協会会報係 TEL&FAX 045-983-8327
e-mail:support@yokohama-spain.org
<http://www.yokohama-spain.org>

次号の原稿締切は
3月12日(土)です。
投稿は800字以内、写真1点をお付け下さい。

